

【大学の授業】

大学の授業は、三年生の応用言語学、一年生のパンチャシラ（インドネシアの建国五原則）、ヒンドゥー教の授業を取っており、たまに一年生の日本語聴解の授業に参加してネイティブスピーカーとして授業を手伝うこともあります。

授業はインドネシア語で行われるため理解するのが難しいですが、たいていの講義はPPTを使用しているため、後で共有されるPPTファイルを翻訳してどうにか授業についていっています。また、授業はグループでのプレゼンテーションも多いため、友達にたくさん助けてもらいながら授業に参加しています。

【バリでの生活】

バリでは、インドネシアの祝日以外に、バリヒンドゥーの暦に基づいた祝日も多くあります。9月24、25、26日のGalungan、10月5日のKuninganは、ヒンドゥー教の神々や霊、祖先霊が各家庭に帰ってきて、また天上界に帰る日であり、日本でいうお盆に似た行事です。実家に帰って家族、親戚で集まったり、お寺にお参りに行ったりします。Galunganのときちょうど月経のタイミングと重なってしまい参加できませんでした（ヒンドゥー教では月経の女性はお寺に参拝することを固く禁じられているため、よくお参りの際は「月経じゃない？」と必ず確認されます）が、Kuninganはお世話になっている先生のご家族と一緒に過ごさせていただきました。地域の大きなお寺や、先生のご実家内にあるお寺（バリ人の多くの家庭にお祈りのためのお寺があります）でお祈りをしました。



Kuningan の夜、同じ授業を受けているバリ人の友達から晩ごはんに招待してもらいました。そのバリ人の彼女は、毎年 Kuningan の日に同じクラスの友人たちを招待して食事をふるまうそうです。大学はバリ人だけでなく、インドネシアの各地から学生が集まるため、バリで一人暮らしをする他地域の学生も多くいます。この日はヒンドゥー教の祝日ですが、彼女の家にはいろんな宗教の学生が集まって一緒に過ごしました。昼間は彼女も Kuningan のお祈りで忙しかったそうですが、私を含め他地域の友人のために食事をふるまってくれる彼女のあたたかい心遣いにとても感動しました。



Kuningan の日、先生のご実家にあったお供え物→

花やお菓子、果物、お金などが入っている



【休日の過ごし方】

休日は友達と海に遊びに行くことが多いです。バリに住むインドネシア人に休みの日は何して過ごすの？と聞くと、だいたい海で遊ぶよ～と返ってきます。海で夕日を眺めたり、写真を撮ったり、ビーチで遊んだり、食べたり飲んだり、とのんびり過ごします。友達にはビーチで撮った写真や動画を上手く編集して素敵な動画を作っていました。海に沈んでいく太陽を眺め、さざなみの音を聞くと本当に心が洗われていきます。バリの美しい景色を見ていると、生きていてよかったなあと思えるので、みなさんもぜひ人生で一度はバリに訪れてみてください。

